

2010年 日本歯内療法学会(JEA) 群馬研修会

『エンド難症例への対応』『エンドと咬合』

日本歯内療法学会(JEA)は、歯科保存臨床における歯内療法分野に特化した学会で、全国の歯科大学教授や歯内療法に精通する開業医が多数所属しています。

2010年7月24,25日に開催される、第31回 JEA 総会学術大会に先立ち群馬県歯科医師会のご協力を得てJEA 群馬研修会を開催いたします。

日々の臨床で多くの先生が遭遇する歯内療法の疑問点への解決策を探るべく、今回の研修会を企画いたしましたのでぜひともこの機会を見逃すことなく、多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

『エンド難症例への対応』 根管治療か外科的歯内療法か抜歯か

講師

北村 和夫 Kazuo Kitamura



1962年 群馬県邑楽郡板倉町生まれ
1986年 日本歯科大学歯学部卒業
日本歯科大学附属病院総合診療科 准教授
日本歯科大学附属病院 歯内療法チーム長
日本歯内療法学会指導医
日本歯科保存学会評議員
日本歯科保存学会指導医
米国歯内療法学会準会員
日本歯科顕微鏡学会評議員

医療先進国の根管治療の成功率は文献的に約75%ですが、歯内療法の医療報酬が低く設定されている日本では、さらにその成功率は低く、再治療を繰り返しているのが現状です。しかし、再治療を繰り返すほど、その成功率は低下する悪循環に陥っています。長年、日本の歯内療法は、デフレスパイラルに陥っているとと言っても過言ではありません。

多くの先生が、歯内療法の難症例でお困りではないでしょうか。まずは、その歯が根管治療のみで治せるのか、外科的歯内療法を行うべきなのか、抜歯の適応なのかをもう一度考え直してみましょう。その判断基準、治癒しない原因について臨床例を供覧しながら解説し、併せて私の実践している治療法を紹介します。

本講演が先生方の歯内療法の診断・治療能力の向上につながれば幸いです。

『エンドと咬合』 一般臨床における歯内療法

講師

平井 順 Jun Hirai



1949年 福岡県生まれ
1977年 日本大学歯学部卒業
神奈川県川崎市開業 平井歯科医院 院長
明海大学歯学部臨床教授
日本歯内療法学会理事
日本歯内療法学会指導医
日本顎咬合学会常任理事
日本顎咬合学会指導医
米国歯内療法学会正会員

歯内療法を必要とする歯は、臨床において痛みを伴うことが多く、それを速やかに取り除くために処置を最優先してしまいがちです。しかし、歯内療法の目標である予後の長期的安定と口腔内で機能を十分に回復するためには、患歯の処置だけでは不十分と言えます。

処置の前段階として、可能な限り数多くのデータを収集し、多角的に一口腔単位での診査、診断が必要です。そして、これ等をもとに、包括的な治療計画が立案され、治療はあくまでも、これに従って進められることが理想です。なかでも、咬合の診査、診断は、最終の補綴計画を決定する上でのベースとなるわけですから、安定した下顎位のもとで補綴処置を行うことが治療の最終目標であるとすれば、初期において、こうしたプロセスを抜きに歯内療法に入ることは意味をなさないとと言っても過言ではありません。歯内療法は最終ゴールに向かうための重要な助走段階と認識する必要があります。今回、一般臨床における歯内療法について皆様方と一緒に考えてみたいと思います。

日程: **6月24日**(木) 17:00~20:00

会場: **群馬県歯科医師会館**

群馬県前橋市大友町1-5-17 TEL: 027-252-0391

受講料: JEA 会員・非会員を問わず **(受講料は当日承ります。)**

事前登録 ¥5,000 (2010年6月23日までに申し込みいただいた方)

当日会費 ¥8,000

勤務医/DH/DA他 ¥3,000(事前、当日問わず)

お申し込み方法

参加受講申込書にご記入の上、下記 A・B いずれかに郵送またはFAXでお申し込み下さい。(Bは E-mail も可)

A: 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル
(財)口腔保健協会 日本歯内療法学会 事務局 FAX: 03-3947-8341

B: 〒371-0804 前橋市六供町1-23-2
万代歯科診療所 笹木 貴 FAX: 027-243-0649
b-d-c @ blue.plala.or.jp

日本歯内療法学会(JEA) 研修会 群馬・前橋 2010.6/24 (木) 参加受講申込書

ご記入のうえ、上記 A・B いずれかに郵送またはFAXにてお申し込み下さい。(Bは E-mail も可)

フリガナ 氏名	医院所在地 〒
院長 勤務医 DH/DA/その他	TEL.
医院名	FAX.